

どうなる日本

～政治・経済の問題点を斬る!～

安倍政権発足後、有効求人倍率は、バブル崩壊以来22年ぶりの高い水準に、賃金の引き上げ率でも過去15年間で最高水準となる等、アベノミクス効果で長引くデフレが解消に向かっているといわれる一方で、消費税率の引き上げによる買い控えや、急激な円安の進行に伴う収益の圧迫、さらに、地方では人口急減・超高齢化による地域経済の衰退が深刻化しており、中小企業を取り巻く環境はまだまだ厳しい状況が続いております。

本講演会では、元経済産業省官僚で現在、慶應義塾大学大学院教授、TV、新聞、雑誌など多くのメディアでご活躍中の岸 博幸 氏を講師にお招きし今後の日本の政治・経済の見通しについて独自の鋭い視点でわかりやすく解説します。



Hiroyuki
kishi
岸 博幸

～プロフィール～

2001年第1次小泉内閣時、経済財政政策担当大臣補佐官に就任。その後、大臣・竹中平蔵の財務担当秘書官として、情報通信政策や郵政民営化などに携わる。06年内閣総辞職時、経済産業省退官。08年に慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授に就任。著書『脱藩官僚、霞ヶ関に宣戦布告!』他

■職歴・経歴

- 1962年 東京都生まれ
- 1986年 3月 一橋大学経済学部卒業
- 4月 通商産業省入省
(産業政策局、通商産業研究所等を経て)
- 1990年 7月 コロンビア大学ビジネススクール留学
(機械情報産業局、通商政策局等を経て)
- 1995年 11月 朝鮮半島エネルギー開発機構(KEDO)出向
- 1998年 6月 通商産業省資源エネルギー庁に復職
- 2000年 8月 内閣官房IT担当室に出向
- 2001年 9月 経済財政政策担当大臣補佐官
- 2002年 9月 金融担当大臣補佐官を兼任
- 2004年 9月 経済財政政策担当大臣・郵政民営化担当大臣秘書官
- 2005年 9月 総務大臣秘書官
- 2006年 9月 経済産業省退官
慶應義塾大学DMC統合研究機構助教授に就任
- 2008年 4月 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授に就任

日時

平成27年 1月27日(火)
15:00～16:30 (受付 14:30開始)

場所

ヨコスカ・ベイサイド・ポケット(本町3-27)ー手話通訳ありー

講師

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科教授

きし ひろ ゆき
岸 博幸氏

参加費

無 料 (要申込み)

定員 300人(先着順)

定員300人に達した場合は、締切日前でも、お申し込みを締切らせていただきます。

申込方法

お申し込みは、往復はがきに(1)郵便番号・住所(2)お名前(フリガナ)(3)電話番号をご記入いただき、1月16日(金)までに下記宛お申し込みください。(お一人1枚)

また、返信はがき(宛名面)には、お申し込みされる方のご住所、お名前を忘れずにご記入いただき、返信の文面は入場券等となりますので、何も記入しないでください。

※お申込みいただいた個人情報は、本講習会を実施するために必要な連絡等に使用すると同時に、参加者名簿作成の目的で収集しており、他の目的に利用することはございません。

申込み・問合せ

横須賀商工会議所 産業・地域活性課「新春経済講演会係」
〒238-8585 横須賀市平成町2-14-4
TEL:823-0402 FAX:823-0401

共催

横須賀商工会議所・横須賀市・(公財)横須賀市産業振興財団・(公社)横須賀青年会議所・横須賀工業振興協
横須賀三浦労働基準協会・横須賀運輸港湾振興会・三浦商工会議所

後援

神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター